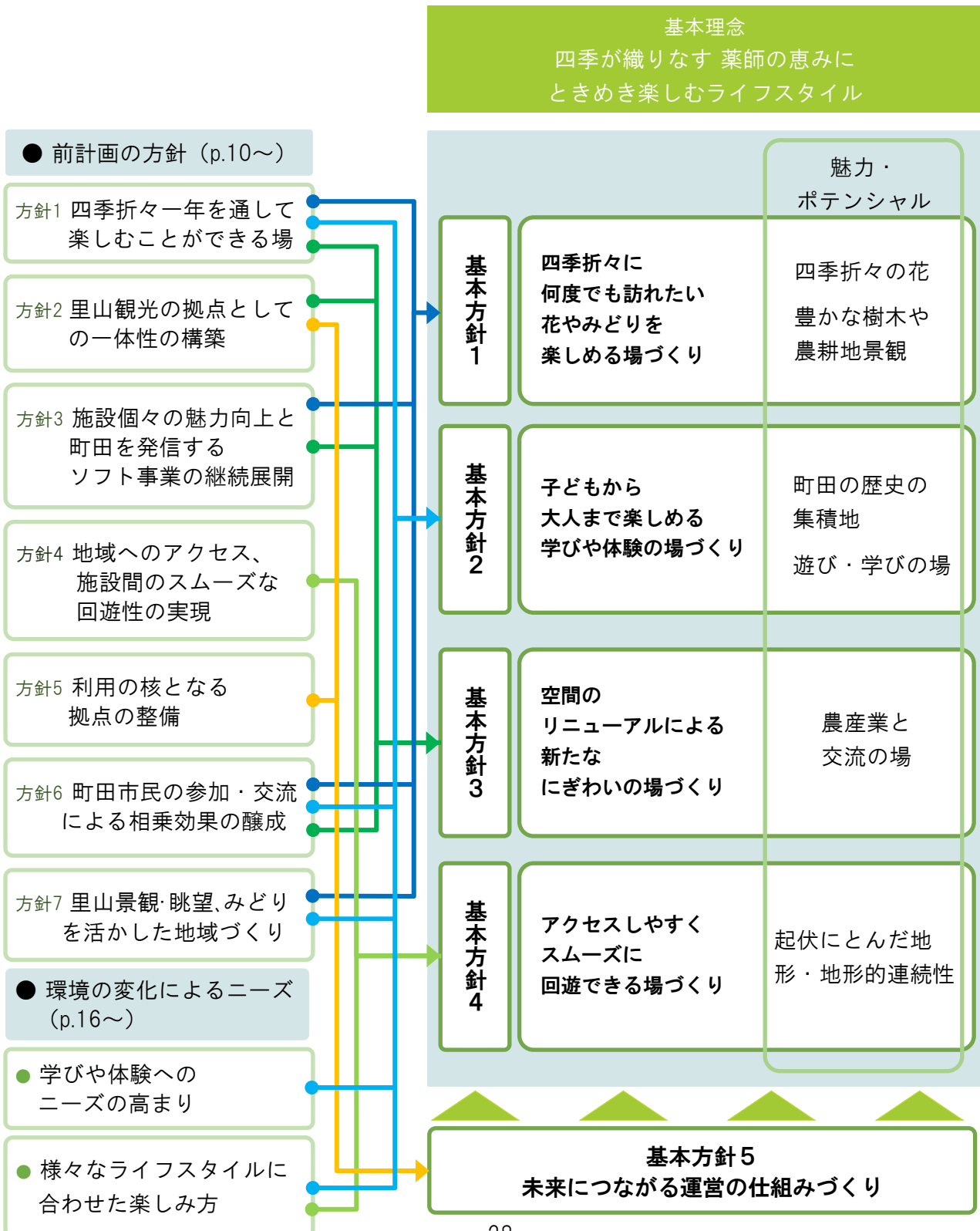


4 基本方針

(1) 基本方針



























本計画では基本理念を実現するために、前計画の方針ごとの成果、環境変化によるニーズを踏まえ、四季彩の杜の魅力・ポテンシャルを最大限発揮した「来訪者が楽しむ場」と「楽しみを支える仕組み」づくりに係る5つの基本方針を設定します。



基本方針1から4については、来訪者が楽しむ場に関する方針として、基本方針5については、楽しみを支える仕組みに関する方針として展開を図ります。



(2) 基本方針に対応する取組

5つの基本方針を実現するための重点的な取組を示します。重点的な取組は、新たに実施していく「新規取組」及びこれまで実施してきた取組を更に磨き上げる「継続取組」に分けて展開します。また、各基本方針を包括する全体の指標と基本方針ごとの指標を定めます。

基本方針	取組	
基本方針1 四季折々に 何度でも訪れたい 花やみどりを楽しめる場づくり	 花園と回廊の設置  農体験の提供  景観の演出と 園路空間の活用	 景観作物園の拡張と 農ある風景の演出  林床植物の保全  みどりの活用
基本方針2 子どもから大人まで楽しめる 学びや体験の場づくり	 新しい小動物との ふれあいと学習機会の提供  特別な体験空間の提供	 自由民権資料館との連携  学びと体験の提供
基本方針3 空間のリニューアルによる 新たなにぎわいの場づくり	 新たなにぎわいと 心地良い空間の提供  展望施設の設置  休憩所の充実	 観光スポットの リニューアル  ウェルカムゲート 機能の充実
基本方針4 アクセスしやすく スムーズに回遊できる場づくり	 多様なモビリティの導入  ハイ・シーズンの 臨時駐車場の確保  公共交通機関の利用推進  エリア内サインの 追加設置と統一化	 フットパスコースの提供  駐車場収容力の向上と 円滑な案内誘導の実施  交通誘導サインの設置
基本方針5 未来につながる 運営の仕組みづくり	 包括的なエリア管理  ブランディング戦略の展開	 情報の一元的な 収集・共有・発信  みどりの適正な保全

凡例：  新規取組  継続取組

○ エリア全体の指標

指標	現状値	目標値
「町田薬師池公園四季彩の杜」の年間来園者数 (エリア全体の延べ人数)	134万人 (2022年度)	200万人

① 基本方針 1

新規
取組



継続
取組



四季折々に 何度でも訪れたい 花やみどりを楽しめる場づくり

四季折々に表情を変える四季彩の杜特有の景観を多くの世代に接してもらえるように、風景、風情を感じられる草花等を配し、来訪により感動を得られる施設や眺望を楽しめる場所を設けます。四季彩の杜に行けば、いつもどこかで四季が感じられ、何度訪れても楽しめるエリアにします。

● 新規取組



花園と回廊の設置

- ・ 季節により様々な表情をみせる花園を整備し、草花やみどりで彩られた回廊と施設間をつなぐ連節点を設け、移動も楽しめるようにします。



花ショウブ



回廊イメージ



景観作物園の拡張と 農ある風景の演出

- ・ 地域の方の協力を得ながら景観作物やみどりで彩られる農園を拡張し、季節ごとに「町田ならではの」景観を提供し、その季節に毎年訪れたい場所にします。



菜の花



ひまわり



コスモス



そばの花

● 継続取組



農体験の提供

- ・施設運営者や地域の方と連携しながら来訪した方に農業に触れる機会を提供し、自然や農業の楽しさを伝えていきます。



農園



林床植物の保全

- ・希少な山野草などの林床植物の生育環境を保全します。また、地形を活かした樹林空間の活用方法について検討します。



えびね



景観の演出と園路空間の活用

- ・民権の森を散策し、ぼたんやシャクヤクを楽しむための庭園を演出していきます。
- ・色鮮やかなダリアを主体とした花々の景観演出と誰でも歩きやすい園路空間を提供します。



クリンソウ



みどりの活用

- ・利用しやすく明るい雑木林を保全するとともに、東京都と連携し散策路の利用を促します。



庭園

● 指標

指標	現状値	目標値
年2回以上来園している方の割合 (来園者アンケートの結果)	54% (2022年度)	70%
閑散期のエリア全体来園者数(延べ人数) (夏季：7月から9月、冬季：12月から2月)	夏季：20万人 冬季：27万人 (2022年度)	夏季：30万人 冬季：35万人

② 基本方針 2

新規
取組



継続
取組



子どもから大人まで楽しめる 学びや体験の場づくり

地域住民や来訪者が集い、自然、歴史、文化など、四季彩の杜「ならでは」の学びや体験を通して、新たな発見や自分の気づきにつながる事業を展開します。そして、子どもから大人まで全年代に渡る「遊び」「喜び」「癒し」「休息」「特別感」等の幅広いスタイルに適應したエリアにします。

● 新規取組



新しい小動物との ふれあいと学習機会の提供

- ・小動物の種類を増やし、ふれあいを通じ、生命のあたたかさや優しい気持ちを育む体験と学習の機会を提供します。



ふれあい体験



自由民権資料館との連携

- ・自由民権資料館との連携により、町田の歴史を学ぶ機会を提供します。



自由民権資料館



特別な体験空間の提供

- ・自然の美しさや豊かさを感じながら、都会の喧騒を忘れられる特別な体験空間を提供します。



自然の中でキャンプを楽しむ



落ち葉プール

● 継続取組



学びと体験の提供

- ・ ワークショップや冒険プログラム、バーベキュー体験を通して子どもから大人まで幅広い年代がチャレンジできる場を提供します。
- ・ ダリアの学習コーナーや体験イベントを通して、花々に愛着を感じられる事業を展開します。
- ・ 写真の展示会や撮影技術の講習会を通して、写真愛好家の集う場を提供します。



ギャラリートークの様子

● 指標

指標	現状値	目標値
参加したイベントに対する満足度（最高評価）割合 （各イベント開催時のアンケート結果）	67% （2022春フェア）	80%
イベントの開催数	616回	800回
イベント参加者数	370,595人	500,000人

コラム

自由民権運動に奔走した石阪昌孝

ぼたん園は、町田を代表する自由民権家石阪昌孝の屋敷があったところです。文明開化の影響を受けていたのでしょう。明治11年に石阪邸を訪ねた人の日記には、庭が芝生の西洋風庭園で、屋敷には紅の絨毯が敷かれていたとあります。

明治18年に石阪邸を訪ねた北村透谷は、この時長女美那と出会います。自由民権運動の影響を受けた若者たちの青春群像と大恋愛の物語として語られる2人の出会いも、この地でした。

自由や権利の獲得のために奔走した石阪は、晩年には財産の大半を失って、この地にあった屋敷も借金返済のために人手に渡ることになりました。まさに「井戸堀政治家」の典型のような生き方といえます。

ぼたん園下の畑の中央を走る農道から、ぼたん園内を通り、まっすぐ小高い丘のほうに向かう道があります。その丘の上に建っているのが石阪昌孝の墓です。

「野津田の自慢は何だんべえ 石阪昌孝あったこと」と地元野津田に残る歌に象徴されるように、野津田の人々に愛された石阪昌孝は、一族の墓地とは別に自分の屋敷地を見下ろす位置に墓が建てられ、長い一本道は墓への参道として整備されたものと思われます。

長男はアメリカに永住し、娘2人は他家に嫁いだため、墓守は野津田青年会「凌霜会」から野津田町内会へ引き継がれ、今でも地元の人々の手で行われています。



石阪 昌孝

③ 基本方針 3

新規
取組



継続
取組



空間のリニューアルによる 新たなにぎわいの場づくり

美味しい食事やお酒、スイーツを堪能する場の提供、町田市名産品や新鮮な町田産農産物の販売、野外体験等、市内事業者を支えられ、共に発展する参加・交流型エリアにします。

また、新たなにぎわいを創出するために、民間活力の活用についても検討を行います。

●新規取組



新たなにぎわいと
心地良い空間の提供

- ・庭園の風情を感じながら、ゆっくりと休める飲食施設を設置し、新たなにぎわいと心地の良い空間を提供します。



飲食施設イメージ

(斑尾高原HP)



観光スポットのリニューアル

- ・町田市を代表する観光スポットを、より魅力的な施設にリニューアルするとともに隣接地との連絡路を設け、さらなるにぎわいと相互利用による利便性の向上を実現します。



「リス放し飼い広場」



展望施設の設置

- ・丘陵の頂上部（緑地保全地域区域外）に遠方まで見晴らせる展望台を設置し、散策者がいつも訪れたい場所とします。

● 継続取組



ウェルカムゲート機能の充実

- ・ エリアの情報を一括で得られる拠点としてコンシェルジュサービスをはじめとするウェルカムゲート機能の充実させます。



ウェルカムゲート



直売所



休憩所の充実

- ・ 散策者や来訪者にとって、ホッとできる憩いの空間となる休憩所を充実させます。



休憩所



東屋

● 指標

指標	現状値	目標値
施設利用に対する満足度（最高評価）割合 （アンケート結果）	（72%）※	80%
イベントの連携事業者数	177社	300社

※（2022春フェア）

④ 基本方針 4

新規
取組



継続
取組



アクセスしやすく スムーズに回遊できる場づくり

エリアへのアクセスと、施設間の移動を改善するために、動線整備と誘導の仕組みを検討し、行きやすく・巡りやすく、利用することが楽しいエリアにします。

また、交通渋滞の緩和に向け、公共交通機関の利用を促す仕組みづくりを進めます。

●新規取組



多様なモビリティの導入

- ・事業者と連携しながら施設間、施設内の回遊性向上や各駐車場の利便性向上のため、環境にやさしいモビリティの導入を行います。



園内モビリティの試行導入



シェアサイクル



グリーンスローモビリティ



フットパスコースの提供

- ・四季彩の杜を巡る四季ごとの多様なニーズに対応した新しいフットパスコースを提供します。また、モビリティの活用と連動したウォーキングコースも提案します。



まちだフットパスガイドマップ



ハイ・シーズンの臨時駐車場の確保

- ・ゴールデンウィークや紅葉の季節など、特定の混雑時期に臨時駐車場を設けます。
また、駐車場の混雑状況や渋滞情報を臨時案内板により、エリア進入前に周知するとともに、SNSを利用したりリアルタイムでの情報提供と有人による臨時駐車場への誘導を行います。
(次ページトピック参照)



駐車場収容力の向上と円滑な案内誘導の実施

- ・来訪者増加への対応や交通渋滞の緩和に向け、既存駐車場の収容台数を増やします。また、交通情報の事前周知や入庫待ちの動線案内を行います。(次ページトピック参照)

●継続取組



公共交通機関の利用推進

- ・交通事業者と連携しながら、町田駅や鶴川駅などの乗り場案内を拡充し、公共交通機関の利用を推進します。



交通誘導サインの設置

- ・道路管理者や交通管理者と連携しながら、車での利用者への案内誘導のため、わかりやすい交通サインを設置します。
(次ページトピック参照)



交通誘導サイン



エリア内サインの追加設置と統一化

- ・巡ることが楽しく、わかりやすい施設間サインの追加設置と統一化を行います。



エリア内サイン

●指標

指標	現状値	目標値
2つ以上の施設を利用した方の割合 (来園者アンケートの結果)	78% (2022年度)	90%
駐車場台数(自動車、大型バス)	502台	714台
公共交通機関利用率	20%	30%

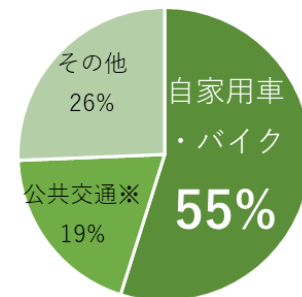
トピック ハイ・シーズンの車利用について

春や秋のイベント開催時などハイ・シーズンは、一部駐車場が満車になるなど、混雑します。また、鎌倉街道にも渋滞が発生し、エリアへのアクセスに問題が生じています。

ドライバーが快適にエリアにアクセスするために、下記を踏まえた解決策の検討が必要です。

1 来訪者の多くが自家用車を利用。

春フェアアンケートでは、自家用車・バイクで来訪している人の割合は55%であり、公共交通機関の利用率は19%と低い状況でした。



※バス・鉄道利用者の合計

(基本方針 4の取組と対応)



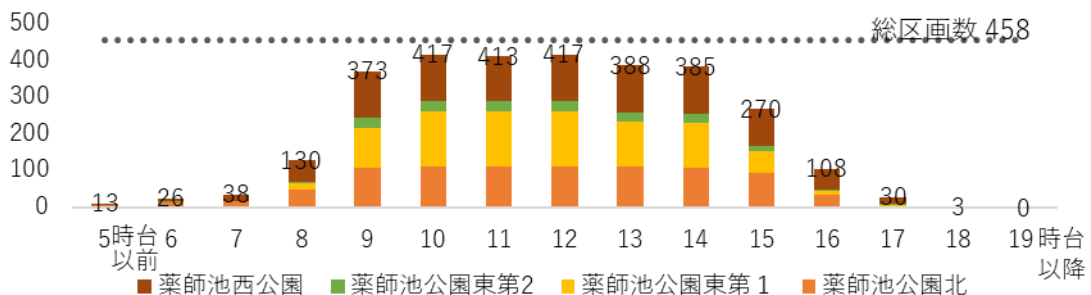
ハイ・シーズンの
臨時駐車場の確保



公共交通機関の利用推進

2 イベント開催時も同一時刻に全駐車場が満車になっていない。

2022年度の駐車場利用状況では、7つの駐車場が同時に満車になった日・時間帯はありません。イベント開催日など、特定日の駐車場利用に偏りがあるため、一部の駐車場で満車になっています。



ハイ・シーズンで最も駐車台数の多かった2022年5月5日の時間帯別の状況

(基本方針 4の取組と対応)



ハイ・シーズンの
臨時駐車場の確保



駐車場収容力の向上と
円滑な案内誘導の実施

3 鎌倉街道渋滞の原因の一つは、右折車両。

鎌倉街道は、今井谷戸交差点から薬師ヶ丘交差点先まで片側1車線が続きます。交差点で右折する車両が多いことも渋滞の原因となっています。

次ページに主に渋滞が発生している区間と右折が多い交差点、交通誘導サインの設置状況を示しています。

(基本方針 4の取組と対応)



ハイ・シーズンの
臨時駐車場の確保



交通誘導サインの設置



凡 例		
●	交差点	
○	案内設置あり	
■	渋滞発生区間	
		↘ ↗
		右折が多い交差点

⑤ 基本方針 5

新規
取組



継続
取組



未来につながる運営の仕組みづくり

エリア内にある複数の施設を一体で管理することによって、施設間の連携をさらに円滑にし、効率的で質の高いエリア運営につなげます。

また、統一感のあるプロモーションによるブランディング戦略を展開します。

さらに、雑木林をはじめとする、四季彩の杜「ならでは」の森林景観を持続的に保全していくために適切な森林管理を行います。

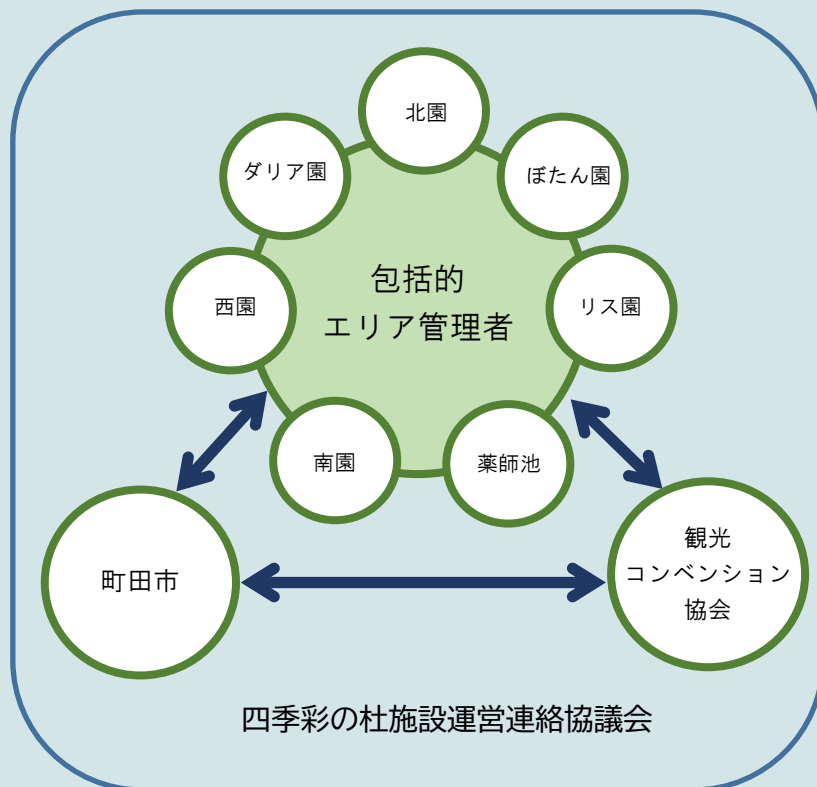
● 新規取組



包括的なエリア管理

- ・ 四季彩の杜全体を一つの事業者が一体的に管理することにより、施設間の連携をシームレスにし、サービスの充実を図ります。

四季彩の杜包括的エリア管理者を中心とした連携イメージ

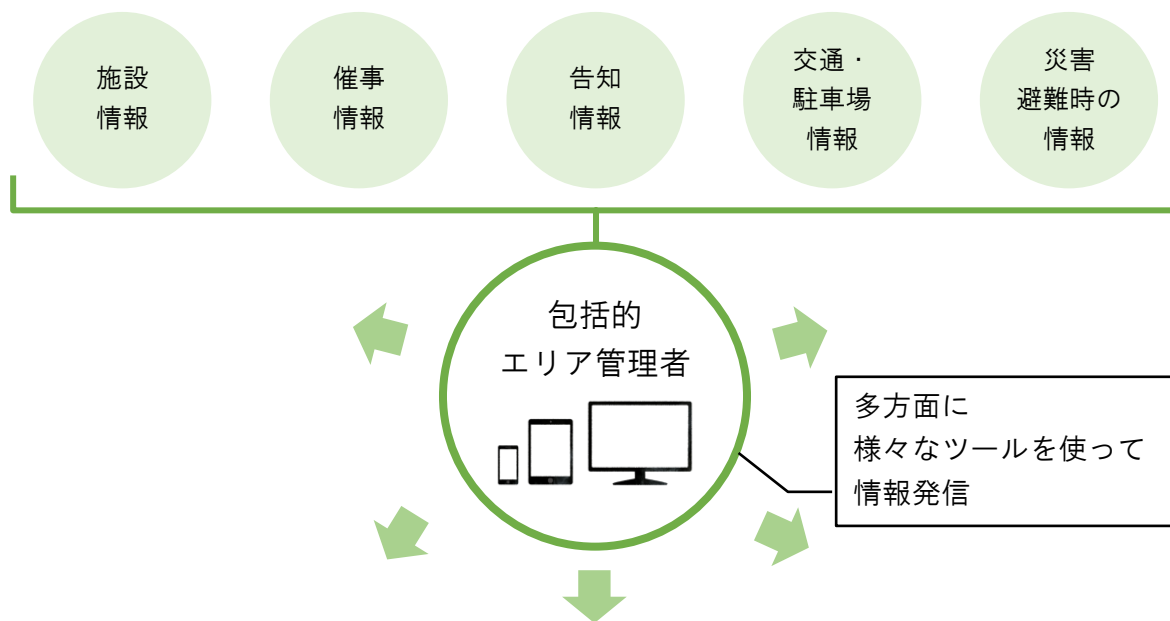


矢印は支援・要請など



情報の一元的な収集・共有・発信

- ・全施設の催事情報や告知情報、交通・駐車場情報、災害避難時の情報などを四季彩の杜包括的エリア管理者に集約し、デジタル技術を活用し、その情報を一体的に発信します。その際には、継続的で効果的な情報発信を行うため、専門事業者との連携も行います。



●継続取組



ブランディング戦略の展開

- ・四季彩の杜の認知度向上のために、広報媒体や物販などにブランドロゴを掲載し、統一感のあるプロモーションを行います。また、四季彩の杜関係者は、連携を深めるとともに、ブランド・アイデンティティの実現につながる空間づくりを行います。



みどりの適正な保全

- ・みどり豊かな景観を将来世代に引き継ぐために、市と地域で協力しながら樹木の間伐と育成を両立させます。






























●指標

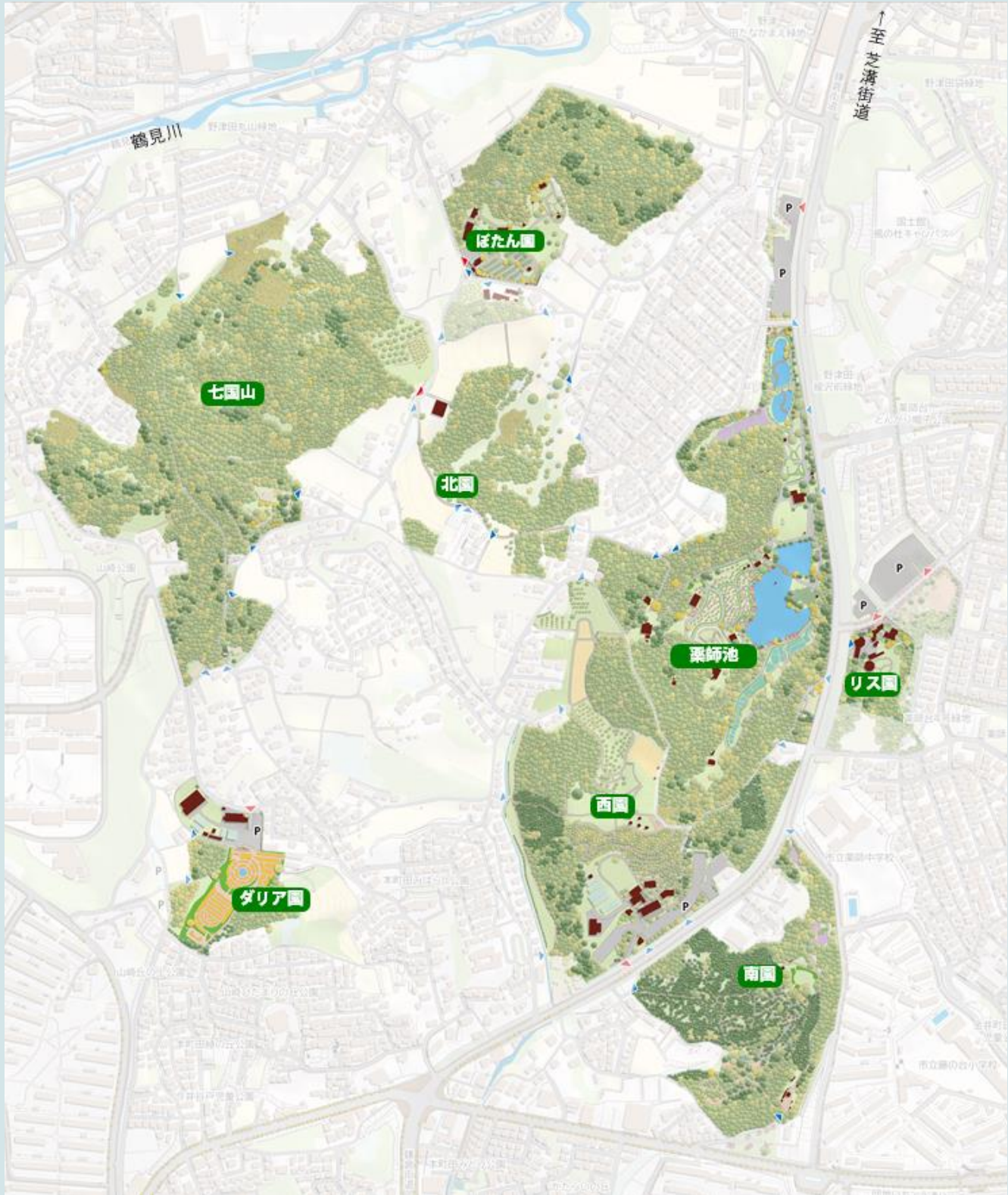
指標	現状値	目標値
「四季彩の杜」名称の認知度 (来園者アンケートの結果)	52%	80%
「四季彩の杜」ポータルサイトのアクセス数 (年間の集計値)	272,287回 (2022年度)	500,000回
施設間で連携したイベント数	21回	50回

(3) 基本方針の取組を展開する施設

基本方針の新規取組（ピンクのアイコン）と継続取組（水色のアイコン）を施設ごとに表示します。

● 10年間の取組

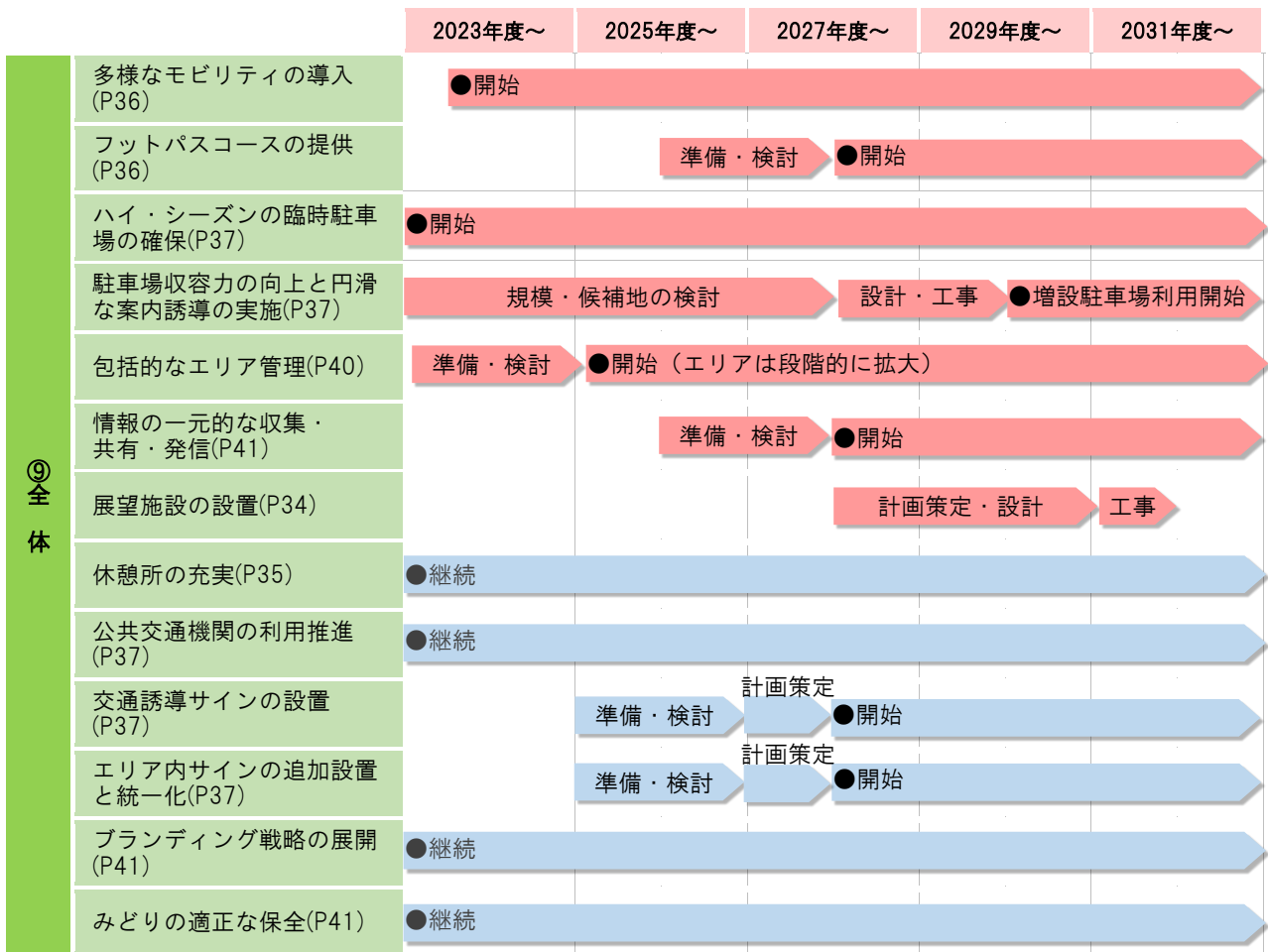
全 体	 多様なモビリティの導入	 フットパスコースの提供
	 ハイ・シーズンの臨時駐車場の確保	 駐車場収容力の向上と円滑な案内誘導の実施
	 包括的なエリア管理	 情報の一元的な収集・共有・発信
	 展望施設の設置	 休憩所の充実
	 公共交通機関の利用推進	 交通誘導サインの設置
	 エリア内サインの追加設置と統一化	 ブランディング戦略の展開
	 みどりの適正な保全	
薬師池	 花園と回廊の設置	 新たなにぎわいと心地良い空間の提供
	 学びと体験の提供	
西園	 農体験の提供	 学びと体験の提供
	 ウェルカムゲート機能の充実	
リス園	 新しい小動物とのふれあいと学習機会の提供	 観光スポットのリニューアル
ぼたん園	 自由民権資料館との連携	 景観の演出と園路空間の活用
北園	 景観作物園の拡張と農ある風景の演出	 特別な体験空間の提供
七国山	 みどりの活用	
ダリア園	 景観の演出と園路空間の活用	 学びと体験の提供
南園	 林床植物の保全	



(4) 取組の工程表

2023年度から2032年度までの取組を以下に示します。

		2023年度～	2025年度～	2027年度～	2029年度～	2031年度～
① 薬師池	花園と回廊の設置(P30)		都市計画決定			
	新たなにぎわいと心地良い空間の提供(P34)		計画策定・設計	工事		
② 西園	農体験の提供(P31)	●継続				
	学びと体験の提供(P33)	●継続				
	ウェルカムゲート機能の充実(P35)	●継続				
③ リス園	新しい小動物とのふれあいと学習機会の提供(P32)		準備・検討			●開始
	観光スポットのリニューアル(P34)	計画策定	設計	工事		
④ ぼたん園	自由民権資料館との連携(P32)	●開始				
	景観の演出と園路空間の活用(P31)	●継続				
⑤ 北園	景観作物園の拡張と農ある風景の演出(P30)	計画策定	設計	工事	●開始	
	特別な体験空間の提供(P32)	計画策定	設計	工事	●開始	
⑥ 七国山	みどりの活用(P31)	●継続				
⑦ ダリア園	景観の演出と園路空間の活用(P30)	●継続				
	学びと体験の提供(P32)	●継続				
⑧ 南園	林床植物の保全(P31)	準備・検討	都市計画決定	用地取得・生育環境の保全		



5 未来への継承

本計画は2023年度からの10年間を対象としていますが、基本理念及び基本方針を未来へ継承するために、2033年度以降の未来に展開する取組についても次のとおり示します。

地形や景観を活かした遊び場の整備

四季彩の杜の魅力の1つである起伏のとんだ地形や樹林景観を継続して保全するとともに、既存の景観の中で、多様な世代が楽しめる遊び場をつくります。その際には、隣接地とのアクセス連携を含めた整備を検討します。(南園)

歴史文化資産の復元や活用

エリアには民権の森緑地保全地域の石阪昌孝の墓や鎌倉古道など歴史的価値の残る場所が数多く存在します。これらを周知し、継承するために歴史文化資産の復元や活用などを含めた事業展開を進めます。(ぼたん園)

隣接地域との連携

四季彩の杜の隣接地域には、大規模な藤の台団地、町田山崎団地が存在します。これらの管理者と連携し、ともに発展するエリアにしていきます。(エリア全体)





四季が織りなす 薬師の恵みに

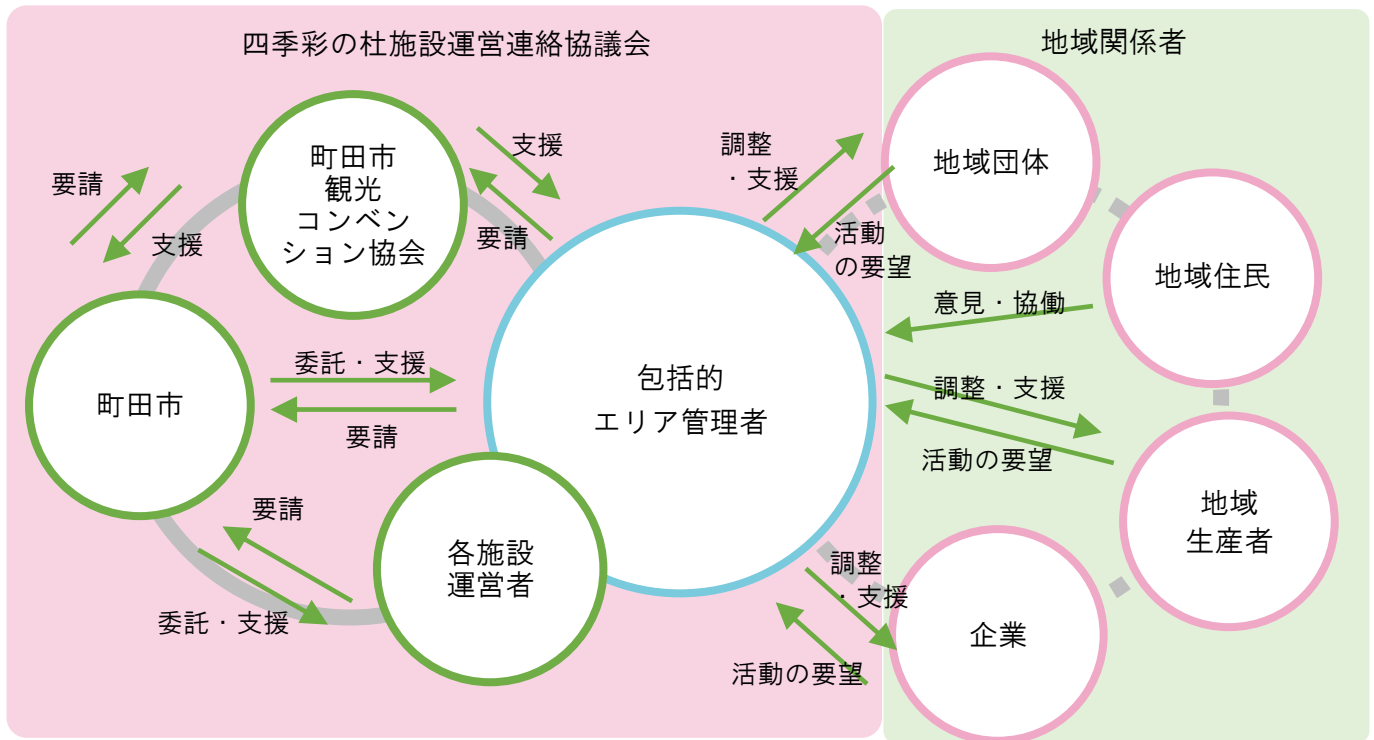
ときめき楽しむライフスタイルを

次世代へ



6 計画の推進体制

本計画の推進は、町田市が全体を取りまとめながら、各関係主体の協力のもと、着実に推進していきます。以下に各関係主体の役割を記載します。



包括的エリア管理者を中心とした取組・活動



四季彩の杜施設運営連絡協議会

- ・本計画の進捗状況の確認を行います。
- ・各施設の情報の共有や施設間で連携したイベントの開催に向けた調整を行います。
- ・要望や意見の共有を行い、エリア全体で改善に向けた取組を行います。

包括的エリア管理者

- ・四季彩の杜施設運営連絡協議会の事務局を運営します。
- ・総合案内所の運営を行い、来訪者等からの要望や意見を取りまとめます。
- ・四季彩の杜の関係者とのネットワーク構築や連携調整、また、施設間の連携イベントを実施します。

町田市観光コンベンション協会

- ・観光振興の専門家として、包括的エリア管理者や各施設と互いに連携し、支援します。
- ・全体イベントの実施や各施設に事業提案や支援を行います。

町田市

- ・各関係主体との連携のもと、本計画の示す方向に沿って、目標や取組を推進します。
- ・取組の進捗状況を確認・評価し、必要に応じて見直し・改善を行い、計画の適切な進捗管理を行います。
- ・年度ごとに四季彩の杜施設運営連絡協議会において、進捗状況の確認を行い、取組を見直すなどPDCAサイクルを実行し、着実に計画を推進していきます。

観光まちづくり課の役割

- ・本計画の進捗管理を行います。
- ・エリアのブランディングとPRを行います。
- ・エリア内へ誘客のためのイベントを実施します。
- ・サイン計画（エリア内・交通誘導）を作成します。

公園緑地課の役割

- ・公園の整備とサインの設置を行います。
- ・包括的なエリア管理体制を構築し、魅力的な施設の運営を行います。
- ・みどりを適正に維持管理します。

障がい福祉課の役割

- ・障がいのある方の活動の場の確保を行います。

農業振興課の役割

- ・エリア内での農業に関する支援を行います。

文化振興課の役割

- ・文化の振興や文化施設の運営を行います。

生涯学習総務課の役割

- ・四季彩の杜の歴史資源を活用した、町田の歴史を学ぶ機会を提供します。

交通事業推進課の役割

- ・エリアへのアクセスについて公共交通機関の利用を推進します。

地域関係者

地域住民

- ・町田市や包括的エリア管理者と協働し、地域への愛着や誇りが醸成される住みやすいエリアにします。
- ・エリアに関する要望や意見を包括的エリア管理者に提供し、運営者の改善につなげます。

地域団体

- ・みどりの保全活動（公益的活動団体等）など公園の管理運営の支援を行います。
- ・イベントの実施や、要望や意見を包括的エリア管理者に対して提供します。

地域生産者等

- ・地域で生産した農作物等をエリア内での消費につながる取組を行います。

企業

- ・イベントの開催や協賛をおこないます。また、様々な媒体を利用した情報発信を行います。

